

平成27年度決算を認定しました

9月議会には、平成27年度決算の認定議案3件が提出されました。

27年度は、財政健全化を進めるとともに、南海トラフ地震対策を最重点課題として、総合計画第2次実施計画に搭載された各施策を着実に推進する内容となっており、これらの議案を審議した結果、公共下水道事業会計は全員の賛成で、一般会計・特別会計および水道事業会計は賛成多数でそれぞれ認定しました。

本会議で得た答弁

財政健全化は進むも、依然中核市最下位クラス

実質公債費比率

借入金返済額の大きさを財政規模に対する割合で示した実質公債費比率については、起債の発行抑制や繰り上げ償還などに取り組んだことにより、平成21年度との比較では19・2%から15・0%へと改善してきている。しかし、中核市47市中最下位であり、46位の青森市の14・2%と比べても高い数値となっている。

今後も新庁舎建設、旭駅周辺整備、（仮称）北消防署建設などの、南海トラフ地震対策を柱

とするハード整備に積極的に取り組む必要があることから、起債の繰り上げ償還の実施などにより、実質公債費比率の抑制に努めていく。

将来負担比率

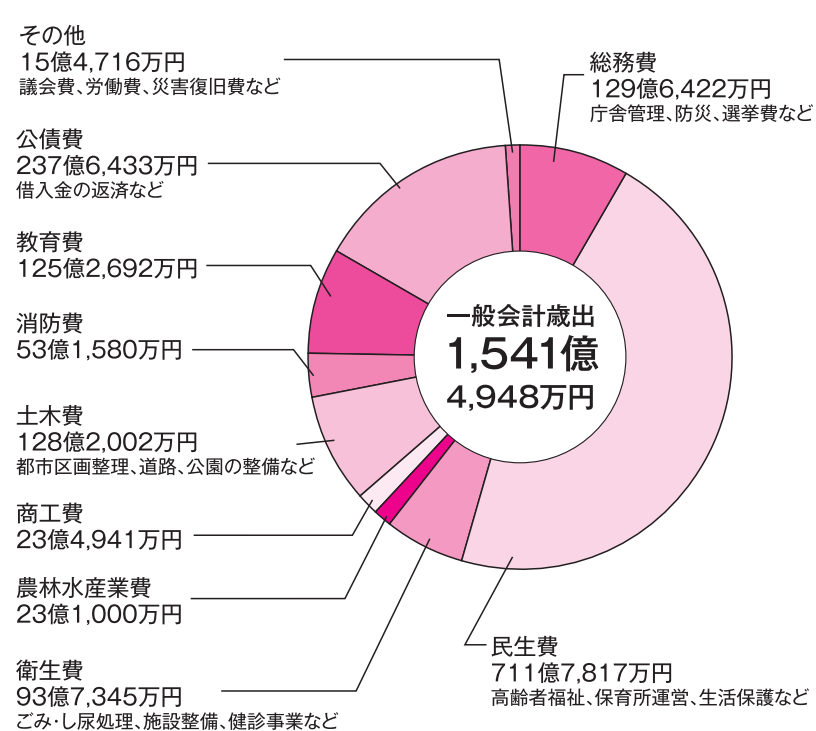
現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で示した将来負担比率については、平成21年度との比較では257・7%から165・4%へと改善

しており、財政健全化は着実に進んでいるものと考えている。しかし、中核市47市中46位と、依然として低水準にとどまっていることから、財政健全化に向けた取り組みは継続していく必要がある。

表れた歳出削減の効果

行財政改革

平成26年度に総務省から公表された本市の人口1人当たりの人件費・物件費などの決算額は9万2431円と、中核市の中で6番目に低くなっており、類似団体内においても低い水準で



推移している。

これは、人口千人当たりの職員数が類似団体平均より多いことから、人件費は平均値を若干上回っているものの、本市が継続して取り組んできた行財政改革による内部管理経費を中心とした歳出削減などにより、物件費が中核市の中で一番低くなったことが数値に表れたものと考えている。

攻めのお客サービスで黒字継続へ

競輪事業

収益事業特別会計については、現在の競輪場になった平成11年度以降で最高額の約3億7400万円の黒字となっており、投資的経費を除いた競輪事業としての累積赤字は解消し、黒字に転じることができた。

全国的に売り上げが減少傾向にある中で収益を上げることができたのは、ミッドナイト競輪の通年開催や車券の場外発売の積極的な展開、またガールズ競輪やモーニング競輪など新しい競輪をいち早く導入してきたことが大きな要因であったと考える。

しかし、ミッドナイト競輪への参入増による競争の激化、全国的な売り上げの減少傾向などにより楽観視できる状況ではないため、今後もお客様に喜んでいただく、売り上げにもつながるような事業に取り組み、黒字の確保に努めていく。

審議日程（9月定例会）

8日 開会

13日 市長提出議案提案理由説明
個人質問

14日 福島 明（新こうち未来
伊藤 弘幸（公明 党

15日 平田 文彦（新風クラブ
竹内千賀子（市民クラブ）

16日 清水おさむ（新風クラブ）

17日 迫 哲郎（日本共産党
川村 貞夫（新こうち未来

18日 はた 愛（日本共産党
大久保尊司（公明 党

19日 岡崎 豊（市民クラブ）

20日 西森 美和（公明 党
浜口佳寿子（日本共産党

21日 氏原 嗣志（新こうち未来
深瀬 裕彦（市民クラブ）

22日 中澤はま子（新風クラブ）

23日 寺内 憲資（公明 党
浜口 卓也（新こうち未来

24日 下本 文雄（日本共産党
下元 博司（日本共産党

25日 高木 妙（公明 党

26日 岡田 泰司（日本共産党
追加議案提案理由説明

27日 21・23・26日 常任委員会
提出 討論 採決 閉会